

令和2年第3回伊達市議会定例会一般質問答弁書

【議員氏名】 岩村和則（質問順位3番）

【質問項目】

- 1 有珠山噴火時の災害対策について
  - (1) 避難所運営方法と災害備蓄品等について
  - (2) 避難所とする可能性のある施設について
  - (3) 避難区域の撮影と避難所における映像の公開について
  - (4) 作業時間の立ち入り許可について
  - (5) 閉校校舎等の有料解放について
  - (6) 今後の取組について

---

岩村議員の「有珠山噴火時の災害対策について」のうち「避難所運営方法と災害備蓄品等について」のご質問からお答えいたします。

ウイルス蔓延時期における避難所運営につきましては、可能な限り多くの避難所を開設し、手洗いや咳エチケット等の基本的な対策の徹底を図るなど、「避難所運営マニュアル感染症対策編」をもとに避難所を運営して参ります。

また、災害備蓄品につきましては、使い捨てマスクや、感染症対策に有効な段ボールベッド、パーテーションを備蓄しております。

次に「避難所とする可能性のある施設について」であります。有珠山噴火時の避難所につきましては、現在、施設の統廃合に伴う見直し作業を進めており、噴火時の避難所として、総合体育館及びみどり会館を新たに指定する予定であります。

次に「避難区域の撮影と避難所における映像の公開について」であります。避難対象地域は、火砕流や火砕サージの危険度が高いと判断される危険区域であるため、全面的に立入禁止となり、映像を撮影することはできません。

治安の維持につきましては、警察官による無人化した危険区域の周辺における警戒活動を基本に考えております。

次に「作業時間の立ち入り許可について」であります。噴火活動が縮小し、厳重な安全措置をとることが可能な場合は、一時立ち入りを実施して参ります。

なお、立ち入り時間につきましては、専門家等の指導を受けながら決定して参ります。

次に「閉校校舎等の有料解放について」であります。感染症対策として、可能な限り多くの避難所を開設する必要がありますので、閉校校舎は避難所としての活用を優先的に考えております。

次に「今後の取組について」であります。自治会に出向いた宅配講座や避難訓練等を通じて、引き続き、自治会との連携を深めるとともに、住民の防災意識の向上に努めて参ります。